

# 新図書館整備基本構想 ～概要版～

－未来をつなぐ図書館へ－



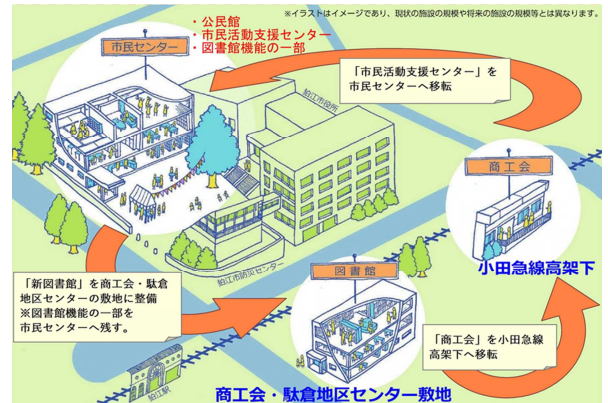
## 第1章 構想策定の前提条件と現市立図書館の課題

### 1. 新図書館検討の経緯

- 令和2年度に策定した「狛江市民センター改修等基本方針」では、新図書館を商工会・駄倉地区センター敷地に整備し、一部図書館機能を改修後の市民センターに残すことを示しています。

※以降、本概要版では商工会・駄倉地区センター敷地に整備する図書館を「新設図書館」、市民センターに残す図書館機能を「図書コーナー」、新設図書館と図書コーナーを併せて「新図書館」と表記します。  
(基本方針の表現とは異なります。)

新図書館・市民センター等整備イメージ



### 2. 狛江市及び市立図書館の概況

#### (1) 狛江市の概況と関連計画等

- 狛江市は全国で2番目に小さな市で、多摩川等の自然や「音楽のまち」「絵手紙発祥の地」等の特色を備えています。人口は近年緩やかに減少しており、今後は高齢化が着実に進行する見込みです。また、学校施設の更新時期を迎えることによる公共施設整備費の増大が想定されます。
- 新図書館整備等に関連する狛江市の各種計画では、将来都市像「ともに創る 文化育むまち ～水と緑の狛江～」の実現に向け、「生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち」づくりや、市立図書館の利便性・利用率向上、資料の充実、機能強化等に取り組むこととしています。

#### (2) 市立図書館の概況

- **施設**：中央図書館と西河原公民館図書室、4つの地域センター図書室(以下、「地域センター等図書室」とします。)で全域サービスを展開しています。築45年の中央図書館では大規模改修を行っておらず、設備の不具合や閲覧スペース・資料収容能力の不足等の問題が顕在化しています。
- **蔵書**：市立図書館全体の蔵書は約30万冊で、うち約18万冊が中央図書館の蔵書です。地域センター等図書室では児童資料割合が高いほか、視聴覚資料やマンガを所蔵する等、市民ニーズをより強く反映した蔵書構成となっています。
- **サービス**：子ども・障がい者等の対象別のサービスや、ICTを活用したサービスを展開しています。また、ボランティアの育成等に力を入れており、おはなし会事業や対面朗読サービス等に協力して取り組んでいます。
- **利用**：市民の利用登録率は約26%で、児童資料の貸出が全体の40%を占め、増加傾向にあります。

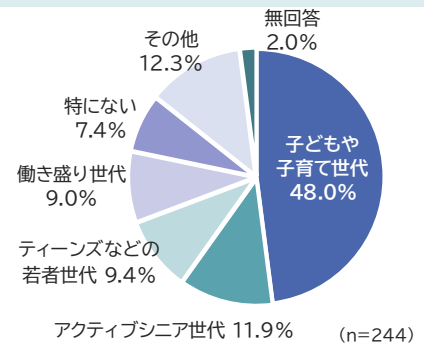


中央図書館内写真

### 3. 市民ニーズ

#### (1) 市民 Web アンケート(244 票回収)

- 今後の市立図書館で特にできると良いことについては、「くつろいで本や雑誌を読む」「落ち着いて調べものや学習をする」(58.6%)、「子ども連れで気軽に訪れ、読み聞かせなどをする」(32.0%)等へのニーズが高くなっています。
- 改修後の市民センター図書コーナーで重視すべき利用者層としては、「子どもや子育て世代」(48.0%)が最多となりました。



#### (2) 市民ワークショップ(全6回)・小中高生ワークショップ

- 市民ワークショップでは、新設図書館に充実したレファレンスサービスや専門的資料、郷土資料、イベント、交流の場等が求められ、市民センター図書コーナーに子どもや障がい者向けのサービス、市民同士のふれあいの場等が求められました。また、それぞれが異なる役割を担うべきとの意見が見られました。
- 小中高生ワークショップでは、自由な利用や滞在型の利用に必要な施設面の充実に関する意見のほか、運営に参画できる機会や交流の場の提供を期待する意見がありました。

各施設の役割に関する参加者意見の概要(第3回市民ワークショップより)

施設名	役割
新設図書館	充実したレファレンス機能や専門資料／狛江に関する資料イベント・講演会等の会場／地域のサロンのスペース、自習室 等
市民センター図書コーナー	子ども・子育て層向けサービス／にぎやかな読書空間 公民館・市民活動に資する資料の提供／市民同士のふれあいの場 サードプレイスの空間、予約本コーナー／障がい者向けサービス 等



市民ワークショップの様子

#### (3) 関係団体等ヒアリング(図書館ボランティア・福祉関連)

- 関係団体等には、活動スペース、対面朗読室・音訳室等の設置やバリアフリー対応等を望む意見が多いほか、利用支援サービスの充実や活動内容の周知、交流支援等を望む意見等がありました。

### 4. 敷地条件

新図書館整備計画地の敷地条件

所在地	東和泉1丁目 1937-1、1937-3 (商工会・駄倉地区センター敷地)
敷地面積	585.45 m <sup>2</sup>
地域地区	近隣商業地域(200/80)・第一種中高層住居専用地域(200/60) 30m・25m 第二種高度地区／準防火地域



位置図

### 5. 現市立図書館が抱える課題

- ① 幅広い層にとって利用しやすい環境づくり
- ② 音楽・絵手紙、自然等の魅力を活かしたまちづくりへつながるサービスの充実
- ③ 市民ニーズと将来展望の双方を踏まえた適切な蔵書規模・構成等の実現
- ④ 新設図書館の規模等を踏まえたより効果的な機能配置
- ⑤ 市民や地域との協働、他機関との連携の実現



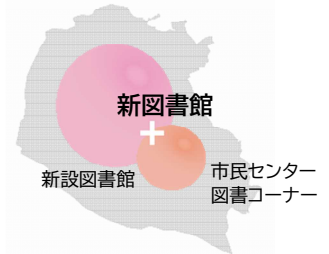
## 第2章 新図書館整備基本構想

### 1. 新図書館を含む市立図書館全体のあり方

#### (1) 市立図書館が目指す方向性

##### サービス網の考え方

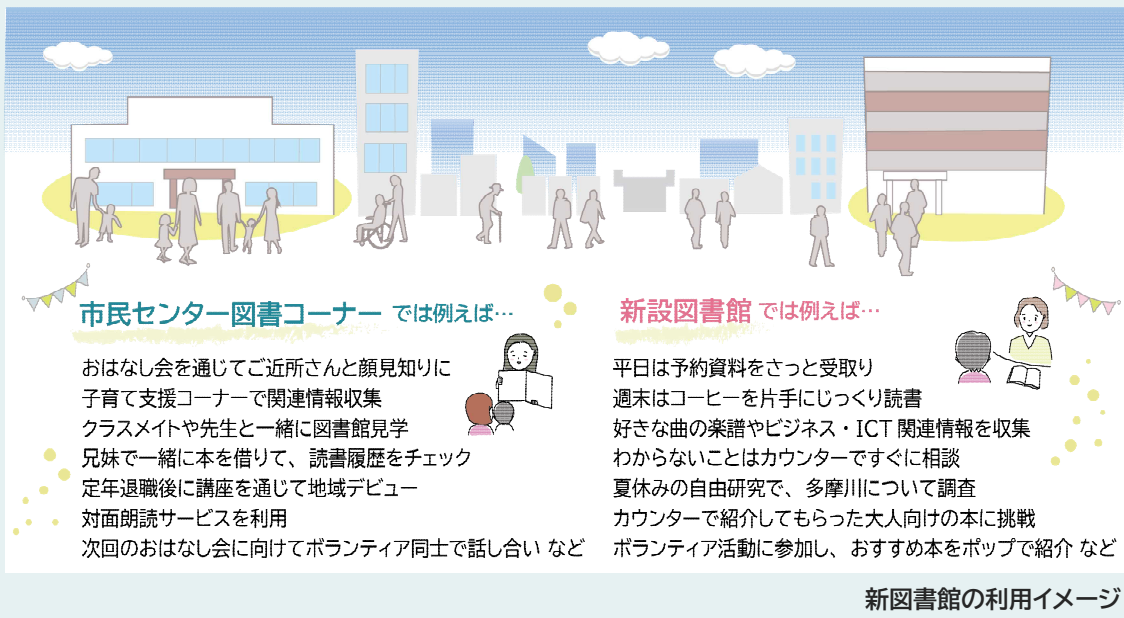
- 新設図書館と市民センター図書コーナー（改修後）で形成される新図書館が核となり、コンパクトなまちを活かしたサービス網を構築します。
- 電子図書館の効果的活用も含め、既存の図書室や学校図書館と連携を図り、市全体で図書サービスの充実を図ります。



##### 今後目指す姿

### 市民の学びや暮らしを彩り、狛江の実りを未来へつなぐ図書館

- 子どもから高齢者まであらゆる市民に必要な学びの場や機会を提供
- 多彩な知・文化の拠点となり、まちの課題の発見・解決や持続的な発展に貢献

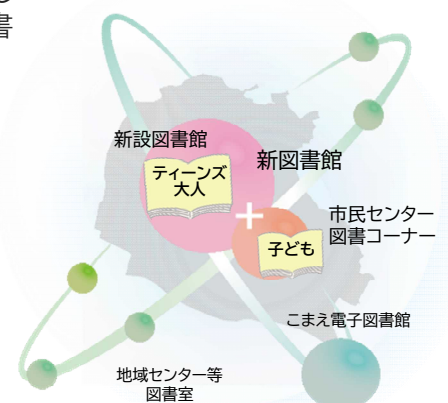


##### サービス等の考え方

- サービス：資料提供・レファレンス・利用支援等の既存サービスの充実・周知を図るほか、ハイブリッドサービス、セルフ貸出、まちの特色や歴史、課題に関連したサービス等に取り組みます。
- 蔵書：サービス網全体で蔵書冊数を充実し、他市水準も踏まえて約 33 万冊以上を目指します。
- 機能配置：新設図書館と市民センター図書コーナーが機能分担しながら一体の新図書館を構成し、地域センター等図書室や電子図書館と一体的にサービス網を構築します。

#### (2) 各図書館・図書室等のあり方

- 新図書館のうち、主に新設図書館が大人やティーンズ向けのサービス、市民センター図書コーナーが子ども向けのサービスを担います。
- 地域の本棚である地域センター等図書室や、いつでも誰でも利用可能な電子図書館が新図書館と一体となり、ハイブリッドライブラリーとして未来へつながる資料・サービスを提供していきます。



## 各施設のあり方

施設名	あり方
新設図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市立図書館の中核としてサービスの企画や蔵書の構築等の各種活動に取り組みます</li> <li>● 大人向けのサービスの拠点として、市民の知的好奇心を刺激する資料や粕江に関連する資料、レファレンスサービス、暮らし・仕事に役立つサービスの充実を図ります</li> <li>● イノベーションライブラリー、アート・ティーンズライブラリーとして重点的に資料を提供します</li> </ul>
市民センター 図書コーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども向けサービスの拠点として、親子が本にのびのびと触れられる場や機会を提供します</li> <li>● 市民活動支援センターとも密に連携し、さらなる市民や地域との協働を進めます。また、市民センター機能を活用して利用者同士の交流等に資するサービス・スペースを提供します</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 西河原公民館図書室は、地域の本棚として地域に密着したサービスを提供するほか、西河原公民館の活動に関連した資料・情報等を提供します。地域センター図書室も地域の本棚として、地域のニーズに応えたきめ細やかな蔵書構成としていきます</li> <li>● こまえ電子図書館は、いつでも誰でも使える図書館として、内容の拡充とさらなるPRを図ります</li> </ul>

## 2. 新図書館の具体的なあり方

### (1) コンセプト

- 新図書館は、市民一人ひとりが自分なりの何かを見つけられる場所、地域とつながることができる場所として、市民の笑顔が溢れる「小さなまちの宝箱」になることを目指します。
- 現在の市立図書館が抱える課題を解消し、宝箱としての魅力をより幅広い層へ届けるため、新設図書館と市民センター図書コーナーが一体となり、「招く・触れる(INVITE/TOUCH)」「遊ぶ・学ぶ(PLAY/STUDY)」「調べる・学びなおす(RESEARCH/RELEARN)」「届ける・伝える(OUTREACH/PR)」の4つの視点に基づく取組を進めます。



### (2) 蔵書規模目標

- 蔵書冊数は市全体で約 36.3 万冊、新図書館(新設図書館と市民センター図書コーナーの合計)で約 23.7 万冊(新設図書館約 17.2 万冊、市民センター図書コーナー約 6.5 万冊)を目指します。また、電子図書についても、タイトル数を約2万冊を目指すものとします。

各施設で想定する蔵書冊数

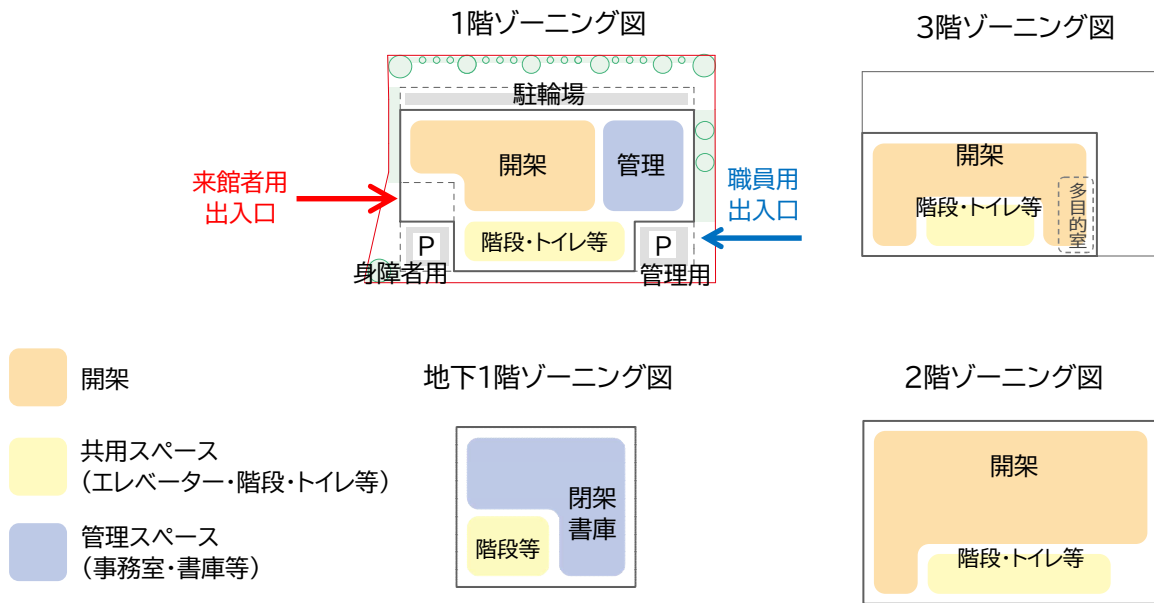
施設区分		蔵書冊数(冊)	
新図書館	新設図書館	一般開架	67,000
		閉架書庫	105,000
		計	172,000
	市民センター	図書コーナー(絵本・児童資料・生活関連資料等)	26,000
		フリースペース等(新聞・雑誌・市民活動関連資料等)	5,000
		市役所本庁舎書庫(絵本・児童資料等)	34,000
		計	65,000
	新図書館計		237,000
	西河原公民館図書室、各地域センター図書室		126,000
合計		363,000	

### (3) サービス計画

	新設図書館	市民センター図書コーナー
<b>INVITE / TOUCH</b> 招く・触れる 	<ul style="list-style-type: none"> <li>- これまで市立図書館を利用することがなかった層に魅力を伝えるためのサービスを充実</li> <li>- 仕事や育児、障がい等の市民の事情・状況に配慮し、安全で利用しやすい環境を提供</li> </ul> <p style="text-align: center;">推進サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コンシェルジュ(司書)による対応</li> <li>- 利用しやすい時間帯での開館</li> <li>- 授乳室、筆談ボード等の整備 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 子ども・子育て世代が気軽に立ち寄り、本や読書、学びの世界に触れるきっかけとなるサービスを展開</li> <li>- 中央公民館と連携し、多世代・多文化の市民が仲間づくりや趣味の活動等に利用できる環境を整備</li> </ul> <p style="text-align: center;">推進サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 乳幼児・小学生向けイベントの開催</li> <li>- 飲食可能なフリースペースや学習室の提供 等</li> </ul>
<b>PLAY / STUDY</b> 遊ぶ・学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 大人やティーンズ向けサービスの拠点として、新たな刺激を得られる本や学習の場・機会を充実</li> <li>- 健康、働き方等の市民生活に関わりが深い分野の資料収集を推進</li> </ul> <p style="text-align: center;">推進サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- “貸さない最新資料”の提供</li> <li>- 季節やイベント等に合わせた資料展示</li> <li>- ソファ席等の多様な閲覧席の提供 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 子ども向けサービスの拠点として、子どもの成長に応じた読書・学習のための場・機会を充実</li> <li>- 障がい者向け資料やサービス、利用しやすい環境を提供</li> </ul> <p style="text-align: center;">推進サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- プログラミング講座等の開催</li> <li>- 乳幼児向けおはなし会の開催</li> <li>- 録音資料・点字資料の提供 等</li> </ul>
<b>RESEARCH / RELEARN</b> 調べる・学びなおす 	<ul style="list-style-type: none"> <li>- コンシェルジュによる対応により、誰でも気軽に相談できる環境を整備</li> <li>- ティーンズの好奇心を満たす「ティーンズ・アートライブラリー」を提供</li> <li>- 狛江の魅力や狛江らしさに触れられる場や機会を充実</li> </ul> <p style="text-align: center;">推進サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- レファレンスサービスの提供</li> <li>- アート・ティーンズ関連資料の提供</li> <li>- 地域資料のデジタル化 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 中央公民館と連携し、市民がライフワークを見つけられる場や機会を充実</li> <li>- 中央公民館・市民活動支援センターの活動等と関連した資料・情報を提供</li> <li>- 幅広い世代のボランティアと協働</li> </ul> <p style="text-align: center;">推進サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各種講演会・講座等の開催</li> <li>- まちづくり等に関する資料・情報提供</li> <li>- ボランティア活動の支援 等</li> </ul>
<b>OUTREACH / PR</b> 届ける・伝える 	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 図書館だよりやHPのほか、SNS等も活用して広報活動を展開</li> <li>- 学校図書館との連携を強化するとともに、保育園等とも連携を推進</li> </ul> <p style="text-align: center;">推進サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- SNS等でのおすすめ本等の情報発信</li> <li>- 小中学校への配送便の定期運行、テーマ別資料セットの貸出</li> <li>- 保育園、児童館等の子ども関連施設への団体貸出 等</li> </ul>	
<b>DIGITAL TRANSFORMATION</b> DX 	<ul style="list-style-type: none"> <li>- こまめ電子図書館やICタグシステムを活用して資料を提供</li> <li>- ICT化の中で学びをデザインするために必要な資料・情報を重点的に発信</li> </ul> <p style="text-align: center;">推進サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 電子図書館による資料提供</li> <li>- セルフ貸出</li> <li>- インノベーションライブラリーとしてのICT関連資料の提供</li> <li>- 情報端末を活用したレファレンス 等</li> </ul>	

## (4) 施設計画

### 新設図書館ゾーニング案



※ 中央公民館の機能の中に誰でも使用できるフリースペースや学習スペース等が整備される予定です。

## (5) 今後の取組

- 基本構想の内容の実現を図るため、今後以下のような取組を進めていきます。

- ① 市民協働のさらなる推進
- ② 親しみやすい愛称の設定(市民とともに検討)
- ③ 取組の段階的な推進
- ④ まちづくりとの連携

## (6) 今後のスケジュール

- 図書館は、令和6年9月から改修工事に伴う休館期間に入り、令和8年8月から新設図書館として新たに開館することを予定しています。

年度 時期	令和4年度		令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度	
	～	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	～
市民センター		基本設計 (令和4年7月～)		実施設計				引越し (公民館・図書館)		改修工事 (公民館休館)				引越し	運用準備	運営開始
新図書館		基本設計		実施設計				既存施設 解体		新築工事				引越し	運用準備	運営開始
現市民活動支援センター 商会等					高架下施設 実施設計		引越し	改修工事	引越し	運営開始						

←→ :この期間は契約のための事務や補助金等の審査を行います。